

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月2日 (2010.4.2)

【公開番号】特開2008-205796(P2008-205796A)

【公開日】平成20年9月4日 (2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-39337(P2007-39337)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/222 (2006.01)

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 3 B 7/28 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 5/222 B

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 3/00 A

G 0 3 B 15/00 S

G 0 3 B 7/28

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月15日 (2010.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正立姿勢または倒立姿勢に設置が可能な設置型撮像装置を有する撮像システムであって

、

被写体の撮像を行う撮像手段と、前記撮像装置の設置された姿勢を入力する姿勢入力手段と、前記姿勢入力手段の入力に応じて、前記撮像手段により取得された撮像画像を回転して出力する回転手段と、前記撮像信号を用いて自動焦点調節を行う為の自動焦点調節手段と、前記撮像画像の自動焦点調節を行う為の信号を取得する範囲の撮像信号を選択する選択手段と、を有し、

前記姿勢入力手段の入力に応じて前記範囲を変更する範囲設定手段を有することを特徴とする撮像システム。

【請求項 2】

正立姿勢または倒立姿勢に設置が可能な設置型撮像装置を有する撮像システムであって

、

被写体の撮像を行う撮像手段と、前記撮像装置の設置された姿勢を入力する姿勢入力手段と、前記姿勢入力手段の入力に応じて、前記撮像手段により取得された撮像画像を回転して出力する回転手段と、前記撮像信号を用いて自動焦点調節を行う為の自動焦点調節手段と、前記撮像画像の自動露出を行う為の信号を取得する範囲の撮像信号を選択する選択手段と、を有し、

前記姿勢入力手段の入力に応じて前記範囲を変更する範囲設定手段を有することを特徴

とする撮像システム。

【請求項 3】

正立姿勢または倒立姿勢に設置が可能な設置型撮像装置を有する撮像システムであって

、

被写体の撮像を行う撮像手段と、前記撮像装置の設置された姿勢を入力する姿勢入力手段と、前記姿勢入力手段の入力に応じて、前記撮像手段により取得された撮像画像を回転して出力する回転手段と、前記撮像信号を用いて自動的に白バランスを調節する自動白バランス手段と、前記撮像画像の自動白バランスを行う為の信号を取得する範囲の撮像信号を選択する選択手段と、を有し、

前記姿勢入力手段の入力に応じて前記範囲を変更する範囲設定手段を有することを特徴とする撮像システム。